

肺癌患者を対象としたシスプラチン併用化学療法における短時間輸液療法に関する研究

研究対象と概要：

国立がん研究センター中央病院呼吸器内科において、2010年1月から2013年12月の間にシスプラチン併用化学療法が行われた肺癌患者さんを対象とし、診療録の情報にもとづいてシスプラチン併用化学療法における副作用を検討します。

研究の意義：

小規模な臨床試験により、短時間輸液療法を用いたシスプラチンの投与方法が、点滴時間、点滴する輸液の総量、副作用等の面で有用であることが報告されました。本研究では、より多くの患者さんの診療録の情報により、詳細な検討を行える意義があります。

研究の目的概要：

国内において肺癌は死亡数をもっとも多いがんです。全身の治療が必要な場合は化学療法(抗がん剤による治療)が行われます。本研究の目的は、化学療法の中心となるシスプラチンを、短時間輸液療法によって投与した場合の効果、副作用の出現状況を調べることです。

研究の方法：

本研究は、診療録の情報を収集、解析することで実施されます。2010年1月から2013年12月までシスプラチン併用化学療法が行われた患者さん約600人を対象とし、シスプラチン併用化学療法の情報を収集します。

個人情報に関する配慮：

患者さんのデータ収集作業は、当院医師が担当します。集められた診療情報は、個人情報が特定できないように研究用の番号を付与し、漏洩のない環境で厳重に管理されます。患者さんやご家族からご希望があれば、診療録の研究への利用は致しませんので下記連絡先へ申し出てください。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

田中緑、堀之内秀仁

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

国立がん研究センター中央病院呼吸器内科

電話：03-3542-2511 / FAX：03-3542-3815

研究責任者：

堀之内秀仁